

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

一般社団法人 アクティブ ケア アンド サポート

②施設・事業所情報

名称：星川こども園	種別：認可保育所
代表者氏名：園長 松岡亜希子	定員（利用人数）：100名
所在地：〒240-0006 横浜市保土ヶ谷区星川2丁目1 2番6号3	
TEL：045-332-1631	ホームページ： http://kodomonomori.co.jp/hs/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 2017年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社こどもの森	
職員数	常勤職員：15名 非常勤職員 2名
専門職員	（保育士）14名
	（栄養士） 1名
施設・設備の概要	（居室数）保育室6 事務室1 給食室1
	（設備等）園庭・大型遊具、空調設備、 厨房設備、沐浴設備、エレベーター
	年齢や人数に適した楽しめる 保育空間を設定しています。2 階にはホールがあり、事務所は カウンター越しのオープンな造 りです。専用調理室にて給食を 提供しています。
	全保育室に冷暖房空調を、乳児保育 室は床暖房を備えています。窓が多く 広々としています。

③理念・基本方針

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ①基本的な生活習慣を身に付け、健やかな成長を培う。 ②遊びや生活を通して人との関わりを多く持ち、豊かな心情や人を大切にすることを育む。 ③様々な経験を通して豊かな感性や想像力を育む。 ④生活の中で言葉をよく聞き、よく話す環境を作り、言葉への興味や関心を育む。 ⑤家庭的な雰囲気の中で安心して自分を表現する力を培う。 |
|---|

④施設・事業所の特徴的な取組

<p>星川こども園は、横浜駅から相鉄線「星川駅」南口改札を出て徒歩7分、閑静な住宅街の中にあり、近くに星川小学校があります。当園は、2017年に開設した比較的新しい、定員100名の園です。園舎は木造二階建てで、大きな園庭を有しています。保育理念に「心身ともに健やかな育成のためそれぞれの発達時期にふさわしい経験の構築に努め、入所児童、保護者及び地域子育て家庭への支援に最善を尽くす」を掲げています。自然豊かな環境の中で外遊びや家庭ではなかなかできない体験を、さまざまな形で楽しみながら実施しています。園は「自分の子どもを入りたい園づくり」を目指しています。</p>
--

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2019年11月15日（契約日）～ 2020年3月31日 （評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（ 年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

1. 子どもが実体験を通して学ぶ教育に力を入れた保育を行っています。

園庭や公園での自然とのふれあい、地域との交流、夏まつりや運動会、発表会、遠足など多くの生活経験をする保育を心がけています。幼児には毎週造形やリズム、体操、書写、自由遊びなどのカリキュラムを実施しています。子どもが五感を通して多くの物事を体験し、学ぶ教育を行っています。小学校へ入学するまでに実際に見たり、聞いたり、行ったりと多彩な経験に力を入れています。今年度から経験を増やすことにより学ぶ力の基礎を養うという新しい取り組みを試みています。

2. 独自のマニュアル・手順書を作成し、職員が使いやすいよう工夫しています。

運営会社（以下、本部）が作成したマニュアルとして、「こどもの森のおやくそく」があります。このマニュアルをさらに職員が理解しやすく、使いやすいよう独自のマニュアルや手順書を作成しています。「星川こども園の職員の業務基本方針」や毎月の予定表、保育室の環境設定手順書、職員緊急時役割分担表等を整備しています。A4サイズ1枚に重要なポイントをまとめ、読みやすく、カラーで印刷しています。

◇改善を求められる点

1. 門扉の施錠管理が期待されます。

門扉は道路から10メートルほど入ったところにあります。門扉には手で開けることができる開き止め金具がついていますが容易に園庭へ入ることができます。不審者対策として施錠可能な鍵が必要ではないか、現在検討中ということでしたが早急な対応が期待されます。

2. ワークライフバランスを考慮した働き方改革など改善が期待されます。

職員体制として、子どもの人数や活動内容に合わせて職員配置を行い、職員の経験年数や担当業務を考慮し負担が増大しないよう配慮しています。人材の確保・育成の観点から、職員の就業状況や把握、働きやすい職場づくりへの取り組みが求められています。時間外勤務の管理や有給休暇の取得促進、職員の意識改革等に取り組むことが期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回初めて受審をし、職員全員が自園を利用してくださっている保護者の皆様にとって『よりよい園づくりとは…』という振り返りをする貴重な機会となりました。大事な時期を過ごす0～5歳児の子どもたちがさらに豊かな経験を積み重ねていくことができる保育を、どのように展開していくべきであるか今後の課題としています。経験の浅い職員であっても弛まぬ歩みと創意工夫をもって貪欲的に「心身ともに安心保育」を進めていくことができるよう努めていきます。開園3年目を終え、5年目、10年目のビジョンをもって保育の質の向上、保育サービスの向上を追い求めていきます。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり